

平成27年 第8回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成27年8月20日(木) 午後2時00分～午後2時35分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 教育長 木下 誠
4. 委員の出席 江原 礼子 川畑 徹朗 秋田 久子 川崎 かおり
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席 教育長 木下 誠
保健体育課長 増田 健一
管理部長 谷澤 伸二 学校給食センター所長 松浦 洋一
学校教育部長 太田 洋子 社会教育課長 中畔 明日香
生涯学習部長 小長谷 正治 スポーツ振興課長 前田 勝弘
教育長付参事 大西 俊己 公民館長 池田 真美
総合教育センター所長 後藤 猛虎 図書館長 三枝 芳美
管理部副参事 升井 竜雄 博物館長 亀田 浩
学校教育室長 村上 順一 人権教育担当主幹 森口 真一
人権教育室長 森田 幸輝 中学校給食推進班主幹 田中 康之
施設課長 田原 安治 少年愛護センター所長 米田 博一
教育企画課長 春名 潤一 教育総務課長 中井 秀典
学事課長 大村 寿一 教育総務課主査 中村 太郎
総合教育センター主幹 尾崎 眞弓 教育総務課 山縣 英美

8. 議事

(1) 開会宣言 木下教育長(午後2時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 平成27年第7回教育委員会定例会会議録及び第4回教育委員会臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第7号の専決第20号の承認

日程第 4 議案第44号の審議

(3) 平成27年第7回教育委員会定例会会議録及び第4回教育委員会臨時会会議録の承認(日程第1)

平成27年第7回伊丹市教育委員会定例会（平成27年7月16日〈木〉開催）の会議録及び平成27年第4回伊丹市教育委員会臨時会（平成27年8月6日〈木〉開催）の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

管理部長より「8月分人事報告」・「7月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「7月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、人権教育室長より人権教育室の、教育長付参事兼中学校給食推進班長より中学校給食推進班の、「7月分行事実施報告」・「9月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 16ページ。街頭補導活動だが、7月の補導人数が354人で6月に比べると倍ぐらい増えているが、どのような内容の補導が増えているのか。

米田所長 補導人数には大人に対しての声かけも含まれているが、子どもについての回答でよろしいでしょうか。

江原委員 はい。

米田所長 子どもについては、5倍ぐらい補導人数が増えている。大型ショッピングモールのゲームセンターでの子どもたちへの声かけがかなり多くなっている。補導委員はゲームセンターで遊んでいる子どもたちに特に問題行動がなければ簡単に声をかける程度で済ましている。それ以外には、お祭りの時に公園内の記念碑に登ったりだとか水鉄砲をして遊んでいるのが迷惑になっていて注意をしたとか、スーパーマーケットのフードコートにいる子どもたちに声をかけた等も補導件数にあげている。大きな問題行動はなかったが、夏休みということで子どもたちに声をかける機会が多かった。

江原委員 先達て大型ショッピングモールのゲームセンターを初めて見たが、非常にネオンがきつくて子どもたちの目にも悪いなと思った。ショッピングモールなどに行っている子どもが増えているということは、やはり保護者への啓発も必要かなと思うのだが、こういった結果について学校との連携は

今後どのようにされる予定なのか。

米田所長 少年愛護センターとしては、生徒指導担当者会で小学校の担当の先生に、子どもたちだけでゲームセンターに行って遊んだりする場面がよく見受けられるので、指導をお願いしたい旨、また家庭での啓発等も口頭でお願いする機会はある。

江原委員 夏休みというのはそれでなくても生活習慣が乱れやすく、そのひとつの結果がここに現れているのかなと思う。一方で2学期も始まる頃になってくると、やはり子どもたちは、非常に不安定になりやすい時期でもあるので、改めて学校との連携をよろしくをお願いしたいと思う。

秋田委員 8-3ページ。「食に関する指導」はどのような内容か教えてほしい。

松浦所長 小学校に出向いて、食の大切さや給食を残さないようにするであるとか、そういった指導をさせていただいている。

太田部長 1年生は給食センターの職員がかきまぜる道具を持って伺い、こうやって作っているのだよということを教える。2年生は栄養教諭が伺い、バランスよく食べる等の食の指導をしている。長年している取組である。センター方式でなかなか見えないのでその辺りが見えるようにしようということから始めたものである。

秋田委員 とてもいい取組だと思う。加えて、食事のマナー・作法についても知る機会を作って貰いたい。作法と言うほどではないが、食べる時に肘をつかないとか、咀嚼する時に口を開けたままにしないとか。これは小学生の時より大人になってからもっと必要になると思う。将来本人が苦勞しないように、知る機会を作っていたらありがたい。

太田部長 わかりました。

松浦所長 その他に、夏休みに親子料理教室を小学校で6校選び保護者の皆さんと一緒に料理を作って親子で楽しんで、家庭でもこういった食の大切さを含

めて親から子へ声かけをしていただくという取組も併せて行っている。

(5) 報告第7号の専決第20号の承認（日程第3）

木下教育長より「報告第7号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第20号 平成27年度第2回教育関係費補正予算要求の申出について」を議題とする旨の発議の後、「平成27年度第2回教育関係費補正予算要求を市長に申し出ることについて、緊急を要したので専決処分により処置したものです。」との説明がなされ、管理部長より補足説明があり、全委員一致で「報告第7号」の「専決第20号」を承認。

(6) 議案第44号の審議（日程第4）

木下教育長より「議案第44号 平成26年度伊丹の教育〈成果報告編〉について」を議題とする旨の発議の後、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、平成26年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況についての点検・評価を行おうとするものです。」との説明がなされ、管理部長より補足説明があり、全委員一致で「議案第44号」を可決。

木下教育長 浅野評価委員の所見の総論には、「平成26年度について、自己点検及び評価は適切であると判断する。」「長期計画、中期計画、その計画性と達成度は評価に値する。」と着実に事務局はやっているということを書きいただいている。「後半部には「資料編」としてグラフや表などの具体的にわかりやすいデータを入れたりするなど、市民目線に立った報告書となっている。」「成果指標も具体的に適切な指標が設定されている。」「積極的な広報活動が、教育に対する市民の満足度の上昇につながったことは大変評価できる。」と評価いただいている。

山内評価委員からも同様の評価をいただいております。「平成26年度の自己点検評価は適切と考えます。」「簡潔明瞭にスリム化されてきた。」「市民の目線に立った表現の整理、課題と改善策の明確。」「データに基づいて分析し、改善に取り組む伊丹の教育委員会はその熱心さを評価することができます。」というような非常に高い評価をいただいている。

このような形で平成26年度伊丹の教育成果報告編ができあがったわけだが、何かご意見ございますか。よろしいですか。

全教育委員 はい。

(7) 閉会宣言

木下教育長（午後 2 時 3 5 分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子